

私たちの活動や意見を仲間で共有します。
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

土浦平和の会ニュース

2019年9月15日 第331号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP://heiwatutira.web.fc2.com/

戦争する国づくり絶対ノーの前進を 今こそ平和の仲間づくり

いま、土浦平和の会はあたらしい仲間づくりに取り組んでいます。土浦平和の会は日本平和委員会、茨城県平和委員会の地域組織ですが「そもそも平和委員会、平和の会ってどういう組織なの」という声を受けて、昨年ニュースNo.322とNo.323に紹介記事を掲載しました。今回は11月に予定されている「日本平和大会in沖縄」のことを紹介します。（右の紹介文で少し理解いただけるのでは？）

会員になれば、平和のために学び行動する企画に参加、平和について語り合う集いに参加、など平和への視野がぐっと広がります。ご家族、友人・知人に加入のお誘いを。

なくそう! 日米軍事同盟・米軍基地

2019年 **日本平和大会**

11月8日(金)
~9日(土) **in 沖縄**

11/8 名護市・豊見城市
▶ 辺野古ゲート前 座り込み行動
/12:00~13:00または
15:00~16:00
▶ 開会集会
/18:30~20:30

11/9 那覇市・豊見城市
▶ シンポジウム・分科会
・動く分科会/9:00~12:00
▶ 閉会集会/13:30~14:00
▶ 那覇市内パレード
/14:00~15:00

3000万人署名
憲法共同センター
統一行動すすむ



土浦駅頭宣伝・署名、月一継続中です。是非ご参加を。

改憲まっしぐらの内閣改造で国民世論に挑戦してきた安倍内閣。震災や台風被害で苦しんでいる国民の救済が待たなしの時に、国民が望んでいない改憲に執念を燃やす安倍政権は退場させるしかありません。

“あきらめないたたかい”が求められています。

- 6月行動 19日(水)午後3:00~ 参加14名、署名19筆
- 7月行動 25日(木)午後3:00~ 参加8名、署名15筆
- 8月行動 29日(木)午後3:00~ 参加8名、署名36筆
- 9月行動 26日(木)午後3:00~

10月行動日未定です。追ってご連絡いたします。

日本平和大会の紹介

1986年の横田から始まり、米軍基地が集中する県で、順番に開催されています。全国から、「平和の願い」をもちより、学び・交流・発見する2000人規模の全国集会です。全都道府県からの参加者とともに、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど世界の平和運動の代表も参加する、国際交流・国際連帯の場です。

また、基地被害から、住民のいのちとくらし、安全をまもるために、基地の縮小・撤去、基地被害の根絶、静かな街をとりもどそうと日夜努力を続けている住民と地方自治体からも参加します。

日米安保条約では、米軍基地は全国どこにでもおくことができるようになっています。日本全土に134ヶ所の米軍基地があります。基地は住民密集地のご真ん中におかれ、住民に深刻な被害を与えています。日本にいる米軍基地の部隊は、ほとんどが海外に出動して他国を攻撃する部隊です。

軍事同盟も基地もない、憲法輝く非核・平和の日本をどうやってつくるのか、世界平和のために日本国民として何ができるのか?ご一緒に考えありませんか。これが日本平和大会です。

秋の一斉平和宣伝行動

10月15日
早朝県内駅頭でチラシ配布・宣伝!

県平和委員会は、今年秋の一斉平和宣伝行動を昨年同様「東海第二原発20年延長反対」、「憲法9条改悪反対・沖縄辺野古新基地建設反対」を柱に、常磐線など県内主要駅頭で実施すると決めました。

土浦平和の会はかすみがうら平和の会、阿見平和の会との連携で神立、土浦、荒川沖駅で10月15日(火)早朝(7:00~8:00)、宣伝やチラシ配布を行います。多数の参加をお願いします。

平和の旅へのお誘い

主催: 土浦平和の会



今年はおとなり 栃木の旅 宇都宮市大谷、川治温泉

今年の「平和の旅」はおとなり「紅葉の栃木の旅」となりました。

「地下壕に眠る戦跡を訪ね、彩りあざやかな奥鬼怒の紅葉を楽しみ、温泉にひたる」というワクワクする企画です。紅葉、ぎょうざ、温泉などのお楽しみ以外に、戦跡などたずね、平和の旅にふさわしい企画もしっかり含まれています。

近いのによく知らなかったおとなり栃木への旅を是非ご一緒に！

実施要領

日程 11月12日(火)・13日(水)

行程(多少の変更の可能性あり)

◎第1日目 土浦→(北関東道)→大谷資料館→昼食(餃子)→若竹の杜(若山農場)→川治温泉宿泊(伊藤園ホテルズー柳閣本館)

◎第2日目 ホテル→川治ダム→龍王峡→昼食(那珂川町・馬頭)→那須烏山市(見所多数)→土浦

費用 2万円 (バス代、一泊2食ホテル代、昼食代、見学科等)

募集人数 30名

- 申込先
- 近藤輝男 080-1987-4050
 - 森泉弘子 080-1084-7428
 - 福田勝夫 090-3537-2632
 - 古澤 明 090-6509-1223
 - 福田洋子 090-8314-3934

○出発時間；12日 午前7時

○集合場所；あけぼの交通駐車場(つくば市古来)

○解散時間；13日 18時(予定)



第4次安倍再改造内閣と自民党新執行部の顔ぶれに暗たんたる気持ちを抱いた方は多いのではないのでしょうか。

直前の参院選で議席を減らし、改憲に必要な3分の2を割り込んだ安倍内閣、さらに選挙後のどの世論調査でも改憲に反対が多数であるのに、これに挑戦するかのごとき改憲布陣を敷いてきました。これほどの民意無視があるのでしょうか。新体制の構成の特徴は、まずこの間の安倍首相の国政私物化疑惑隠し、記録・統計の隠蔽、改ざん、国会での説明放棄などにことごとく手を貸してきた顔ぶれである事。そして何よ

改憲許さぬ決意新たに
疑惑かくし、改憲への執念
むき出しの安倍新内閣

大滝 誠(土浦平和の会理事)

りも、改憲団体「日本会議議連」の幹部、中枢メンバーをズラリと要職に配置したことです。「安定と挑戦の内閣」などという安倍首相の自画自賛に秘められた「改憲一直線」の危険な本質を見抜き、考え、行動する私たちの決意が求められています。マスコミは人寄せパンダの如く小泉進次郎に貼り付き、芸能ニュースばりの大騒ぎです。

台風15号の被害は目を覆うばかり、大震災・原発事故被災地の再建こそ最優先されるべき時に、国民が望んでもいない内閣改造で改憲にひた走る安倍内閣を退陣に追い込むたたかいは正念場です。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)月額400円